

被曝後のこれからを考える

チェルノブイリ事故による放射線影響と健康障害をみつめて

# 木村真三 講演会

たらちね測定報告会

2014年2月23日（日）

14:00 開場 14:30 開演～ 17:30 終了

場所：総合保健福祉センター（内郷保健センター）

参加費：無料

2011年3月11日…あの日から3年が過ぎようとしています。  
この3年間で、みなさんはどんなふうにお過ごしでしたか？

原発事故による放射能の被害は、子どもたちの暮らしを一変させました。  
風に吹かれて、泥にまみれて、水とたわむれる…自然と親しみ楽しむことが危険なことになりました。  
おいしい旬の作物を、まるかじりするにも放射能の測定が必要になりました。

心、身体そして故郷…私たちは、生きるための大切な多くのものを失いました。  
失ったことに気づくために大きな大きな代償を払ってしまいました。

被曝後の世界の中で、失ってしまった何をとりもどしたいのか、何をとりもどすべきなのか、原発事故から27年経ったチェルノブイリの今を知って、もう一度考えてみませんか。

チェルノブイリを見つめつけ、そして福島と向きあう真三先生による、チェルノブイリ事故の放射線影響と健康障害の今のことを、みなさんに聞いていただきたいと思えます。

放射能測定開始から2年経った「たらちね」の測定報告もございます。  
事故から3年、故郷いわきの放射能汚染の現状を報告いたします。

ぜひ、多くのみなさんに御運びいただきますよう、たらちね一同、心よりお待ち申し上げております。



#### 木村真三 プロフィール

獨協医科大学准教授、同学国際協力支援学センター国際疫学研究室福島分室室長。NPO 法人 いわき放射能市民測定室 たらちねアドバイザー / たらちね甲状腺検診プロジェクト顧問。

3.11 直後いち早く現地入りを目指す。当時勤めていた厚労省所管の研究所から現地での調査行動を慎むよう指令が出たため、職を辞して福島へ向かう。福島では放射線測定の草分け的存在、岡野真治博士とともに各地を回って放射線量を測定。同時に採取した土壌サンプルを専門家へ送り、放射性核種の分析を依頼。この現地調査の様子が2011年5月15日、NHK ETV 特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図」として放映され、福島県の詳細な放射能汚染測定地がはじめて一般に公開された。

この他、チェルノブイリ原発事故で被害を受けたウクライナ共和国ジトーミル州ナロジチ地区の住民の健康調査も行っている。

2012年4月、(特活)放射線衛生学研究所を設立、理事長に就任。

**日時：2014年2月23日(日) 14:00会場 14:30開演～17:30終了**

**場所：総合保健福祉センター(内郷保健センター)**  
(いわき市内郷高坂町四方木田191)  
☎0246-27-8555

**アクセス：駐車場260台**  
最寄り駅 JR内郷駅(1169m)

**参加費：無料**

**主催：NPO法人いわき放射能市民測定室 たらちね**  
問い合わせ：TEL/FAX 0246-92-2526  
Eメール tarachine@bz04.plala.or.jp

#### 託児サービスのご案内



本講演では、託児サービスを実施しています。

【対象年齢】2歳～

【料金】無料(定員あり・先着順)

【申込方法】

2/19(水)16:00までにご連絡ください。

【お申込み・お問合せ】

Eメール tarachine@bz04.plala.or.jp

FAX 0246-92-2526

★託児をご希望の方は、必ず事前の申込みをお願いいたします。